

～重層的支援体制整備事業の活用事例～ 包括的相談支援体制とひきこもり支援の連携（令和3～5年度 東京都世田谷区）

自治体概要

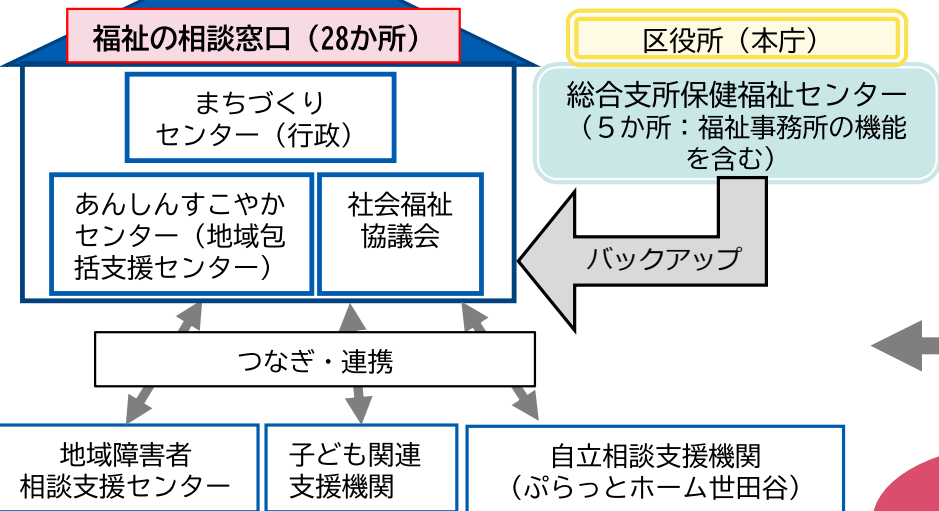
人口 920,000 人
面積 58.05 km²
※人口1人あたり面積 0.006 km²
小学校数 *61
中学校数 *29
(*区立のみ)
本事例の活動領域
・自治体全体



地域活動を支援するまちづくりセンター（行政）と、地域包括支援センターであるあんしんすこやかセンター、地域資源開発を担う社会福祉協議会の三者の一体整備により、三者が連携して身近な地区での福祉の相談と参加と協働による地域づくりを実施。三者が相談を受け止め、必要に応じて総合支所や本庁、関係機関と連携して対応。重層事業の新たな機能（多機関協働、アウトリーチ等を通じた継続的支援、参加支援）は、まずはひきこもり支援を中心に活用しつつ、取り組み状況や課題等を整理しながら生きづらさを抱えた人へ広く支援を展開していく。

包括的相談支援事業

属性や世代を問わず包括的に相談を受け止める。複雑化・複合化した課題には適切に多機関協働事業につなぐ。



地域づくり事業

はつらつ介護予防講座、生活支援コーディネーター、地域活動支援センター、子育てステーション、おでかけひろば、フードパントリー 等
（一般介護予防事業、生活支援体制整備事業、地域活動支援センター事業、地域子育て支援拠点事業、共助の基盤づくり事業に該当する事業）

多機関協働

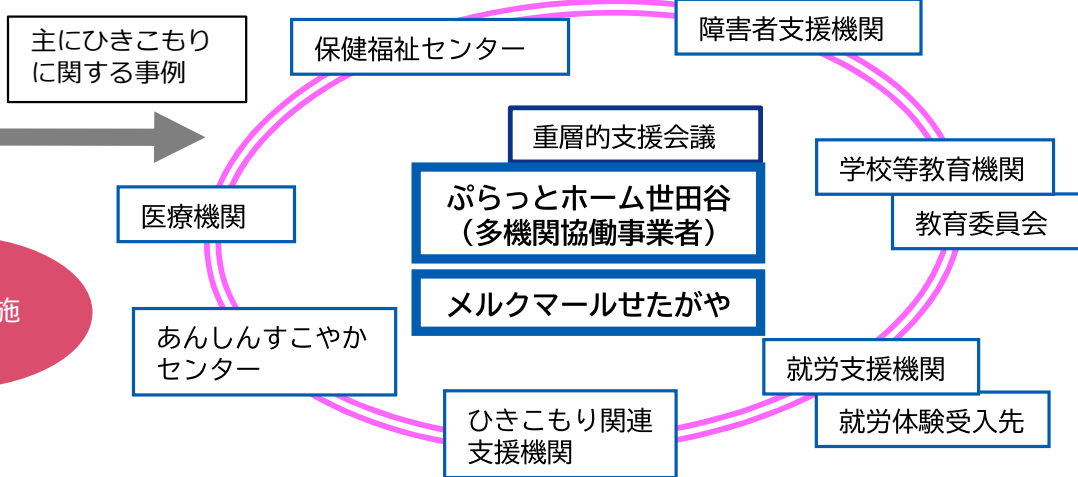
精神保健福祉士の配置等

アウトリーチ等を通じた継続的支援

若者総合支援センターの出張相談拡充 等

参加支援

ピアサポート事業の機能拡充等



世田谷ひきこもり相談窓口「リンク」